

ヤチダモノクロキクイムシ

ヤチダモの幹に穴が開く。穴は丸く、直径約2mm。穴から粉状の木くずやヤニがでる。樹皮下に最大長約3mmの米粒状の黒い甲虫がいる。樹皮の下で繁殖する。幼虫は脚のないイモムシ。体は白く、頭は黄色。衰弱気味の木に潜り、木を枯らすことがある。

【学名】 *Hylesinus tristis*

【分類】 コウチュウ目 (Coleoptera) , キクイムシ科 (Scolytidae)

【分布】 北海道, 本州, 四国, 九州。

【生態】

宿主：ヤチダモ, アオダモ。

年に1世代らしいが、生活史はよく分かっていない。材の表面や内樹皮を食べる。

【被害】

衰弱したヤチダモを加害し枯らすとされるが、被害記録はほとんどないようである。

【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真) .

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ヤチダモノクロキクイムシ kiokui/yatikuro/

[kaisetu.htm](http://kiokui/yatikuro/kaisetu.htm)

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/12/26.